

会 議 事 録

1 会議名	令和5年度長岡市地方創生推進会議幹事会
2 開催日時	令和5年9月25日（月）午後4時から午後5時50分まで
3 開催場所	米百俵プレイス ミライエ長岡 西館5階 スタジオ
4 出席者名	<p>（委員）（敬称略）</p> <p>長岡商工会議所 営業推進部 担当部長 平澤 広栄 長岡地域商工会連合 寺泊町商工会 事務局長 近藤 金広 長岡公共職業安定所 業務部長 高橋 利彦 長岡技術科学大学 事務局次長（兼）総務課長 渡邊 信也 長岡工業高等専門学校 総務課長 湯本 厚男 長岡崇徳大学 学長 森 啓 長岡造形大学 経営企画室長 白崎 美奈子 長岡大学 事務局長 轡田 雅晴 商工組合中央金庫長岡支店 次長 吉田 智仁 大光銀行 地域産業支援部長 長谷川 幸夫 第四北越銀行 コンサルティング事業部 副部長 金子 文大 長岡信用金庫 常務理事 本田 直利 新潟縣信用組合長岡支店 支店長 桑原 優 日本政策金融公庫長岡支店 融資課長 末安 公亘 連合新潟中越地域協議会 事務局長 横澤 勝之 新潟日報社長岡支社 執行役員支社長 小林 啓之</p> <p>（事務局）</p> <p>長岡市 産業政策監・地方創生推進部長 長谷川 亨 政策企画課 課長 目黒 麻子 政策企画課 課長補佐 早川 裕之 政策企画課 係長 相川 良澄 政策企画課 主任 浅野 望美</p> <p>（説明のために出席した市担当者）</p> <p>長岡市 ミライエ長岡開設準備室 事業担当課長 間嶋 晃洋 DX政策課 課長 穂刈 美枝</p>

	行政DX推進課 課長 川上 英樹 地域振興戦略部 地域プロジェクト課長 関 和仁 長寿はつらつ課 課長補佐 中村 雄哉 保健医療課 課長 植村 裕 産業イノベーション課 課長補佐 酒井 億 産業支援課 課長 河上 雄一 産業立地・人材課 課長 野口 仁 観光企画課 課長補佐 桜井 秀樹 国際交流課 課長 入澤 紀子 農水産政策課 課長 曾根 徹 道路管理課 課長 桜井 敏明 学校教育課 係長 大畑 勝義 子ども・子育て課 課長 深澤 寿幸
5 欠席者名	なし
6 議事	(1) 第2期長岡版総合戦略の進捗状況について (2) デジタル田園都市国家構想交付金等の効果検証について
7 報告	なし
8 審議結果の概要	議事(1)、(2)について、事務局から概要を説明し、意見交換が行われた。
9 審議の内容	
事務局：政策企画課・課長補佐	本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和5年度長岡市地方創生推進会議幹事会を開催いたします。 本日の会議は、後日ホームページで議事録を公開する予定となっておりますので、あらかじめご承知おきください。 本日の配布資料といたしまして、会議次第、出席者名簿、パンフレットが数種類、あとはお手元に総合戦略の概要版をお配りしています。 なお、会議資料の中の交付金の名称に一部誤りがありましたので、会議終了後訂正し、公開資料として差替えさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。 それでは、開会にあたりまして、地方創生推進部長の長谷川よりご挨拶申し上げます。
事務局：地方創生推進部長	地方創生推進部長の長谷川と申します。 当市も回答させていただいた新潟日報の首長アンケートの記事内で自治体が消滅するのではないかと、とても危機感を抱くような記

	<p>事がありました。</p> <p>また本日の新聞では、同じ調査から少子化対策を各首長が国の視点も含めて答えているところです。</p> <p>この会議の中での皆様からの評価やご意見が、本市としての回答のもととなりますので、ぜひよろしくお願ひします。</p> <p>このミライエについて、ハローワーク、商工会議所が2年後にこの建物で一緒になる予定であり、その2年後の姿を期待しているところです。また、この6階には第四北越銀行のインキュベーション的なオフィスや、ミュージアムもありますのでそちらも是非お立ち寄りいただけたらと思います。併せて、9階の第四北越銀行専用の床には、入居希望の申込が続々ときているとも伺っています。</p> <p>10月7、8、9日にあります米フェスについても皆さまに周知させていただきます。</p> <p>明日から始まる「マッチングハブ」ですが、4大学1高専と商工会議所と一緒にやらせていただきますが、そちらもご来場いただけたらと思いますし、10月5日からのHAKKOtripも本日チラシが刷り上がりました。こちら、摂田屋、ミライエ、アオーレを中心に1週間イベントがありますので、ぜひ足をのばしていただけたらと思います。</p> <p>もう1点、9月から運用を開始した「マッチボックス」という仕事探しサイトも皆さまからご覧いただけたらと思います。</p> <p>今日は関係の担当課長が出席しております。皆様から厳しいご意見をいただき、ご議論いただけたらと思います。よろしくお願ひします。</p>
事務局：政策企画課・課長補佐	<p>それでは、議事に移らせていただきます。</p> <p>進行は地方創生推進部長の長谷川が務めさせていただきます。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>では最初に第二期長岡版総合戦略の数値目標をご覧ください。</p> <p>戦略1～6までありまして、この中身を私どもの説明が不足している部分がありましたら皆様からお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>初めに、「戦略1 若者定着」についてですが、転出者の超過率と市内就職率をKPIにセットしております。</p> <p>まずこの1番について、ご意見等ございませんでしょうか。</p>
	<p>2021年1月末、「長岡ワーカー」の取組み（参加企業募集、若者採用、移住定住策）の記事を見た。コロナ禍、オンライン環境進んだが、ネットを介しながら働くというところが気になった。サテライトオフィスなど長岡市が進める取組を聞きたい。</p>

産業立地・人材課 長	<p>長岡ワーカーは、長岡に居ながら首都圏と同待遇、同じような仕事ができる仕組み。USENを中心に22名の長岡ワーカーが誕生している。新しい考え方として、一つの就職口の選択肢として選ばれてきている。一方、まだ認知度低い。周知に努め若者が定着するように努力していく。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>補足ですが、1期生で高専生で1人OBがおりますし、造形大学も3人入っていて、そのうち今年入った1人については、自分で起業して、起業しながら長岡ワーカーを選択されていると聞いています。</p>
委員	<p>戦略1の課題と原因分析に、女性の超過率がより高くなっているとあるが、少子化高齢化、少子化等の視点から女性の定着が非常に重要だと言われている。</p> <p>市として女性を特に意識したような戦略があるか、ないのであれば今後されるのか、女性に対する見方があれば聞きたい。</p>
政策企画課・課長	<p>外国籍の方の転入が大分増えているが9割以上が男性。女性の転出超過率が高いというよりは、男性の超過率が外国籍の方によって緩和されてると分析している。それを差し引いても、やはり女性の特に若い女性の転出、首都圏への転出というのは事実上の数字として高い状況。</p> <p>市では、女性の起業家支援や、ビジネスアイデアを募集し実際にアイデアの実践までを支援しており、今後も継続していく。</p>
委員	<p>若者の市内就職率の令和4年度実績値18.2%について、コロナ禍が明け、首都圏県外企業への就職率が高まってきていることについては、なかなか具体的な改善策がない。一方で、新潟日報の県経営者協会への取材として、県内には独自の製品や技術を持った企業も数多くあり、各企業が魅力を高め学生に届くように情報発信することが必要としている。</p> <p>市の今後の取組みを聞きたい。</p>
産業立地・人材課・課長	<p>市内には優秀なものづくり企業があるが、学生に知られていない実情がある。そうした企業を紹介したり、技術を見たり知っていたく機会を設けるなど丁寧に取り組む必要がある。</p> <p>大手主催の企業説明会は出展料が高く市内企業が出展しにくいいため、市が市内企業中心の企業説明会をやることで、地元に残っても</p>

委員	<p>らうような施策を今後も続けていく。</p> <p>(今後の対応の二段落目) 高校生や大学生だけではなく、対象を小中学生にも広げたらどうか。三条市の工場の祭典には子供や女の子も多く参加している。学校と企業が連携して子どもにも見せてあげられるとよい。今後、戦略として盛り込まれたり実際にアクションとして出てくるとよい。</p> <p>その際、中心部だけでなく各地域も取り込めるような仕組みも検討してほしい。</p>
ミライエ長岡企画推進室・事業担当課長	<p>コロナ以前、市内4大学1高専15専門学校、企業の協力で、小学生向けの職業体験などのイベント「しごと体験ランド」を実施していた。。コロナ渦中はオンラインで実施。新年度に向けて検討したい。</p>
産業支援課・課長	<p>今年2月、メイカーズ長岡まつりといったイベントを実施した。とんがったモノづくり企業がワークショップを開催し大勢の子供が参加し、プログラミングの初歩などを学ぶ機会となった。来年2月にもものづくりフェアとメイカーズのフェアを行う予定でいる。</p>
委員	<p>戦略1の今後の対応に、女性や外国人材も含めた、誰もが活躍できる環境づくりを進めていくとの記載があるが、現在進めている取組みを聞きたい。</p>
産業立地・人材課・課長	<p>市ではアドバイザーを雇用し、まずは外国人を雇用していただける企業の開拓に取り組んでいる。言葉の壁や、外国人採用時における在留資格の取得などハードルが出てくることから、外国人を雇用しやすい環境づくりと外国人の方が日本で不安なく働けるようにすることが必要。</p> <p>国際交流センターでは、日常生活の相談ができ、働くだけでなく生活上でも不便や不安を感じられないように周知している。</p>
委員	<p>戦略1の若者定着について、転出者の数字がどういう風に出されたのか、その若者という定義がどういったものなのか、長岡市全域なのかどうか聞きたい。</p>
政策企画課・課長	<p>「若者」は、15歳から34歳までの市内に住民票がある方。</p>

司会：地方創生推進部長	<p>続いて、「戦略2 子育て」に入りたいと思います。ご意見ご感想等ありませんか。</p>
委員	<p>子育て環境や支援への満足度ということで指標が立てられており、実績値の20、21、22年度の欄にはバーが引かれ、実績値については、次期「長岡子育て・育ち“あい”プラン」策定に向け、令和5年度秋に実態調査を行い評価する」とある。</p> <p>その指標が進行管理上必要な成果指標ということで掲げられていると思うが、例えば、この戦略2の部分について、指標に基づき、どのような形で現状分析をし、課題認識をしているのか、市民や市議会にどう説明しているのか聞きたい。</p>
子ども・子育て課・課長	<p>“あい”プランにおいて、それぞれ分野ごとの施策を記載し、毎年度進捗管理と成果の振り返りをしている。現行の“あい”プランは来年度までの計画。次期計画において、国の子ども家庭庁の動き等も踏まえつつ、必要な施策を検討していく。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>“あい”プランは5年に1度だが、指標値でないもので代替的に示せるのであれば示したほうが納得できるということなのではないか。</p>
委員	<p>「戦略2 子育て」に対し、目標設定した数値に対して、現状として上手くいっているのかいないのか、うまくいっていない部分については粘り強く取り組んでいきたいとか、現状に対する進捗管理の部分について、市としてどのように考えているのか。</p> <p>うまくいっていないのであれば、どのような課題があり、次年度に向けてどのように取り組んでいくのか。総合戦略に「結果重視」、PDCAサイクルに基づいた成果指標を重視して取り組んでいくとの記述があり、そうした説明が求められる。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>今難しいのであれば、持ち帰って検討して。この指標にとらわれず他の何かで代替し現状分析ができるのであれば、それをここに入れていただくと良いということですね。</p>
委員	<p>そうしていただければ。</p>
連合新潟中越協	<p>当協議会でのアンケートでも、子育てにおける希望、要望の一番</p>

議会	<p>は「子育てしやすい職場」。長岡市でも、働き方プラス応援事業等、様々な子育て支援の支援策や、企業からの相談に乗っていただいている。2023年度の調査結果に出てくるものと期待している。</p>
委員	<p>子育てしやすい環境は重要。女性が働きやすい職場は男性も働きやすく、男性も働きやすい職場というのは皆が働きやすいと思っている。昨年、そうしたことに取り組む企業の事例集を作成した。</p> <p>「はたプラ」の勉強会では、男性の育児休暇の事例発表を行うと、他の会社も同調される。市としては、そうした事例が広まっていくと、どの会社も働きやすい職場になっていくと考えている。それが戦略1の若者定着につながり、企業が若者から選ばれる一つの指標になると考えており、積極的に行っていききたい。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>それでは、「戦略3 教育」に入りたいと思います。</p>
委員	<p>コロナの影響で学校行事も縮小と記載があるが、教育も変わってきていると認識。</p> <p>今年入学した大学一年生は、高校3年間全く行事がないという年代。今後どういう影響があるが心配しているところ。</p>
委員	<p>本学では「長岡学」を開始した。8割が県外生だが、県外出身の学生が長岡について興味深く聞いてくれ、長岡に住んでいると気づかないような感想を述べている。</p> <p>回数を重ね、長岡をよく知っていただくことで、若者定着という点で、卒業して長岡に残らなくても、長岡の良さを知り愛着を持って県外に出て、その長岡で培った長岡の精神みたいなものが、いずれ数年経って還元されたり、長岡を語ってもらうことなどにつながるとよい。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>4大学1高専で単位互換で「長岡学」をやっていただき感謝。市は小学5年生に長岡学を教えている。学校教育課から説明を。</p>
学校教育課・係長	<p>小中学生も全く同じ状況。長岡の良さを知らない、すごい企業があることを知らない。そういうものを紹介するようにしている。良さの再発見。企業の素晴らしさ、世界一の企業があるということを知らない子も多い。</p> <p>今年から本格運用した長岡教育情報プラットフォーム『こめぷ</p>

委員	<p>ら』では、動画コンテンツとして企業を紹介。授業で活用できるように工夫している。小中学生に長岡の良さを感じてもらい、一旦出てもまた戻ってきたいと思えるような児童生徒を育成している。</p> <p>大学生よりもっと若い世代、小中学生などに長岡のことをもっと好きになってもらい、郷土愛を持ってもらって、長岡に対するプライドを培ってもらうことが必要。</p> <p>いろいろな歴史や長岡に誇れる部分も色々あると思うが、長岡に帰ってこないと出来ないということもあると思うので、そういったところをもっと掘り起こしていただきたい。</p>
委員	<p>戦略3の指標について、基礎的な部分であるが、この資料については全国学力学習状況調査の値に基づき、実績値を出しているとのことだが、この調査の客体というのは児童生徒か。</p>
学校教育課・係長	<p>対象は小学校6年生の全児童、中学校3年生の全生徒が対象。</p>
委員	<p>小学校の児童の指標の経年の値の変化を言うと、当初値が62.1で、2021年度が55.9、2022年度は56.3。年度によって多少増減があるにしても、低減傾向にあると読み取れる。それに対する課題と原因分析については、コロナの部分を引用された形で分析されており納得できる。</p> <p>中学生については、当初値が47.9で、2021年度が51.8、2022年度が46.4。原因分析については、小学校と同様にコロナが原因と分析されているが、小学校と違うのは、同じコロナ禍にあって、2021年度については当初値よりも状況が改善されている点。</p> <p>小学校と中学校の比較、また、年度の値が改善している部分についてどのように原因分析しているか聞きたい。</p>
学校教育課・係長	<p>年度によって若干の変動があるのは、同じ子供を追っているわけではないため。やはりコロナ過での地域との接触機会や地域の大人との触れ合う機会、地域の大人の考えを知る機会が減っているというのが、影響を受けているものと捉えている。</p> <p>地域のコミセン行事はほぼすべてが小学生対象で、中学校はコミュニティスクールや総合学習等の企画で地域のを企画しない限り、地域と触れ合う機会がなくその辺りが影響していると考えている。</p>

委員	<p>疑問に思ったのは、戦略3の成果指標として中学校の割合を掲げているところ。調査する年度によって値は変わっていく中で、傾向値としてどういうふうに見るかということ。今の説明では、47.9から51.8、その後46.4になるが「そういったこともありますよね」と聞き取れる。</p> <p>進行管理をしていく上で成果指標として見たときに、戦略3の効果を計っていく上で、この指標だけで見ていくのは難しいのではないかというのが説明を聞いて感じたところ。</p> <p>先ほど戦略1において、司会から「補助的な指標」というような話があったが、値の変化について説明する際に、他の値を出さないと説明しきれないのであれば、そういう部分をこの課題と分析の中に入れていただく方がわかりやすいのではないか。</p>
学校教育課・係長	<p>検討したい。</p>
委員	<p>長岡には歴史を大事にしている方が多く、郷土への愛着を持っている方が多いと感じている。今後、地域の偉人や企業等を紹介していくということだが、具体的に郷土史の団体や企業、経済団体などとの連携、それを教材につなげていくなどの考えがあるか、計画があれば聞きたい。</p>
学校教育課・係長	<p>教育情報プラットフォームでは、様々な企業に声を掛けさせていただき、賛同いただいている企業から企業紹介を載せていただいている。今後は4大学1高専と連携し、高等教育、大学で何を学んでいるかなど、小中学生にも見せてあげたいと考えている。</p> <p>また、市内各課の特色がある取り組みや、世界一の企業、物づくり企業、日本一のものなど紹介すべく連携をとって進めている。</p>
委員	<p>日本一や世界と繋がりがあがるなど、長岡の企業も世界に目を向けている企業も多いと考えれば、地元においても、世界を相手にした仕事ができるのか、そのような伝え方もあると思うので、ぜひとも地元のリソースを大事にやっていただきたい。</p>
産業支援課・課長	<p>世界を相手にされている市内企業もあるし、ニッチトップのような、隙間ではあるけれども日本一、世界一といった企業が複数あるので、子供たちに知っていただくことで、愛着といったものに繋げていくように機会を設けていきたい。</p>

<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>次の「戦略4 働く」に入りたいと思います。ご意見はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>起業者件数について、課題と原因分析にあるとおり、実際に起業を先延ばしにしている理由はコロナの影響が一番か。それ以外に原因を把握されているものがあれば聞きたい。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>起業相談は新潟県起業支援センター「クリップ長岡」に委託。昨年は250件程度の相談を受けている。事情は様々であるがトータルのにはコロナの影響で、前年度に比べて低い状況と分析している。</p>
<p>委員</p>	<p>起業件数の実績値は、2020年度40件、以降27件、25件の創業、起業した人の年齢層は把握はしているか。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>2022年度は企業件数25件のうち18名が30代までの若者。そのうち20代が5名いる。 また、昨年、新規に起業したいという相談件数は全体で93件だったが、そのうちの約9割、87人の方々が40代までの若年層であることから、若者の企業に向けた機運は高く、動きとしても見てとれる。</p>
<p>委員</p>	<p>当所も様々な創業や起業の相談を受けているが、ネイルサロンや飲食店など雇用に結びつかない業種の方の創業が非常に多い状況。市としてどう考えているか。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>2022年の起業件数25名のほとんどが他の雇用を生まない個人事業主による起業。 今後の起業支援については、例えば、4大学1高専生それぞれが持つ技術を活かした社会への進出、また、イノベティブな人材が社会に出ていくための新たなビジネス創出などを重点的に支援できるよう取り組んでいきたい。それが新たな雇用の創出につながることに期待しており、さらには、革新的イノベティブな起業創業に繋がるような事業に関しては、特別な補助制度を設けるなどに取り組んでいきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>起業自体はそこまで難易度が高くないと思うが、事業を継続発展</p>

<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>するというのはかなり難易度が高い。起業件数の実績値のうち現在の事業継続件数を聞きたい。また、継続、発展をする上で、市が行っているアクションプランや効果が出ている点など聞きたい。</p> <p>起業された方の現在の状況については全て把握していない。起業に至る過程での課題や問題などは、今後ミライエにおける起業メンター制度の中でフォローしていきたいと考えており、起業後のフォローアップと併せて対応していきたいと考えている。なお、クリップ長岡では、新規創業者の7～8割程度がその後継続していると把握している。</p> <p>明日から開催のマッチングハブには、最近開業した企業が10社ほど出る予定。次のビジネス展開の機会を提供する。</p>
<p>委員</p>	<p>起業する際、働く場所を選ばないエッジのきいたビジネスは見つけづらい。そうすると、市場が広がってる都心部で起業する流れができてしまう。</p> <p>相談案件が前年度を上回ってきている中で、起業に至らなかった理由はなぜか。その原因をどう捉え、次年度のアクションプランに生かされているのか聞きたい。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>起業に至らなかった方々の原因分析について、クリップ長岡では、起業や制度の相談を受けいるが、起業に至らなかった個別の事情までは把握しきれていない。</p> <p>地元で起業しやすい環境がハード面なのか、長岡に魅力的な場所やビジネスがないなど様々な要因があると思うので、例えばミライエ長岡でのコワーキングや新たな産業創造につながる交流の拠点となる場づくり、革新的なアイデアを活かした起業については個別の補助制度を設けるなど、長岡で起業したいと思えるような環境を整えていきたい。</p>
<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>補足を3点。一つ目は、技術的な新たなサービスを創出する場合に、そのプロトタイプを作るための資金と体力がないという点。</p> <p>二つ目は、資金調達の面で、補助金や起業の最初の段階でのファンダメンタルな支援がこの地域にはない点。</p> <p>三つ目は、ネットワークや仲間がいるエコシステムなどの環境がない点。そのため、首都圏や新潟に行ってしまう現実がある。</p>

委員	<p>地域経済牽引事業計画の承認件数をK P Iとして設定しているが、地域未来投資促進法を利用する企業はすでに設備計画等を計画しており、その設備投資のために税制優遇或いは資金調達をしているという企業であって、計画そのものを策定の目的としている企業ではない。地域未来投資促進法に基づく投資であって、結果としてこの承認件数はついてくるものと認識をしている。</p> <p>その点から、必然的に計画が増加し、計画認定件数が増加してくるので、K P Iとしてこれが適当だったのか。手段が目的化していると受け取れる。</p> <p>そういう意味で長岡市がこの地域経済牽引事業計画の策定に対し、どのように支援した結果この承認件数が年々増加しているのか、これをどう捉えているのか聞きたい。</p>
産業立地・人材課・課長	<p>頑張ろうとする企業が積極的に計画を作ると考えている。そういう企業に対して、重点的に応援していきたいという気持ちがあつてこの指標を設定したもの。</p> <p>企業からは税制面の優遇や補助金制度などよく聞かれ、非常に重要視されていると感じている。指標として適切かどうかというのはいろいろ考えがある中では適切であると考えている。</p> <p>今後について、市ができるのは市税だけであるが、県であったり、補助金を含めて、起業の雇用が増えるよう努力していきたいと考えている。</p>
委員	<p>結果的にそうなっているだけであつて、その前段階にやるべきことがあるという意味合いか。設備投資を増加させるための、何か政策があつたうえで増えてきているのかどうかということをお聞きしたかった。当然設備投資が増えてくればこの件数は増加してくる。</p>
産業立地人材課・課長	<p>おっしゃるとおり。</p>
委員	<p>その一番究極的なのがこの指標になるとの意味合いであると認識。例えば事業再構築補助金であれば、そういったものを積み上げるとということと了解。</p>
委員	<p>起業件数だけ見ると、県内ではかなり多い数字と感じている。その後のフォローや伴走に課題があるとの話であつたが、金融機関と</p>

産業イノベーション課・課長補佐	<p>してもファイナンスなどクリアしていかななくてはいけない部分。</p> <p>先ほどの起業、創業の業種については雇用が生まれにくい1人や2人の事業主の企業が多いという話であった。今後、機運醸成を図るという意味ではミライエ長岡がすごくいいランドマークになるし、9階のテナントも進出企業がかなり見込まれている。</p> <p>そういった中で、進出してくる企業と起業に係る相談をされてる企業との連携やコラボなど、何か可能性があるのか、市の考えを聞きたい。</p> <p>また、長岡に進出を希望する企業は、かなり広い土地を求める企業も多いが、市街化区域でそういった部分を探すのはなかなか難しい。いわゆる農地活用について、市街化区域の転用など柔軟に相談できる状況にあるか聞きたい。</p> <p>今後様々な異業種が集まり、人材交流があって、長岡で新たな産業ができる、イノベーションができる、それがまさに市が目指すところの「産業協創」。ミライエは、そういったものを具現化するための施設。6階の第四北越銀行のフロアの一部を借りて設置しているコラボレーションオフィスにも様々な企業が入っている中で、それぞれが点と点で動くのではなく、繋がりながら、またお互いのコラボで新たな連携ができるような仕組みを考えていきたい。</p> <p>23日開催のマッチングハブも、異業種の中で交流し合い、新たなものを生み出す機会として好事例であると考えている。長岡の中でも新たな波、イノベーション、創業、産業共創ができるような仕組みを考えていく。</p>
産業立地・人材課・課長	<p>北スマートインターチェンジ付近の産業団地はおかげさまで完売。土地を求めている企業から、広い土地がなく全国で探している状況という話を聞いていたため、中之島地域に新たな団地計画をした。</p> <p>一方、田んぼや農地に工場を建てられるようにするには非常にハードルが高い。住宅地はほぼ開発はできない、許可がおりない。許可というのは長岡市だけではなく、新潟県や国などの許可を得て、農地を宅地に替えるということ。工業用地についても乱開発を防ぐために、基本的には10年に1回、建てて良いという許可の見直しがある中で、やらなくてはならない。</p> <p>今回、中之島地域は（見直しのタイミングで）開発できた。十年というスパンは非常に期間が長く、事業者が土地を欲しい時に供給</p>

<p>委員</p>	<p>できないというジレンマを抱えている。この点については、長岡市だけでは解決できない問題。県や国に相談させてもらいながら、然るべきタイミングで速やかに団地ができるようにしていきたいが難しい課題。</p> <p>新潟県は米の産地で農林にお金がつぎ込まれてるのでちょっと難しいという現実があるが、団地需要も増えているのでそれに対応していきたい。</p> <p>労働組合として、ディーセントワークの実現、働きがいのある人間らしい仕事ということをお願いしている。ILO（国際労働機関）では、ディーセントワーク実現のために、社会的連帯経済、推進ということを決議しているが、連合としてもこれを日本の中でどう広めていくか。</p> <p>社会連帯経済というのは、地域の中で繋がる経済を、地域の中で作っていかうということ。社会的な課題を営利企業として解決を目指す社会的企業であったり、昨年10月施行の労働者協同組合法による労働者協同組合によるそうしたことを実現する動きも出てきているので、起業の中の新しい働き方と合わせ、社会的な様々な課題を解決するといった点も含めた支援をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>担い手農家の農地の利用について、課題認識の中で担い手農家の高齢化、これによる担い手不足とあるが、担い手農家の高齢化は以前から言われてるところであり、今に始まった話ではない。これ以外に課題として認識していることがあるか。</p> <p>また、これまでの「人・農地プラン」を今後2年かけて「地域計画」として策定するとあるが、この中に担い手農家の経営力強化という文言が入っており、これについて普及センター或いはJAと連携した中で、市としてどのように経営力強化の取組みをしようと考えているか聞きたい。</p>
<p>農水産政策課・課長</p>	<p>担い手農家の高齢化という話は確かに以前からあるが、加速度的に進んでいる状況。担い手農家の減少というのも大きく、国においても法律策定時に比べ予想以上に加速している状況で、法律の見直しをしている。</p> <p>市も、担い手農家（認定農業者）に持続可能な農業を続けるため農地の集約化を進めてきたが、その担い手自体が減少している。法人への集約、集積化も図ったきたが、法人自体も従業員が集まって</p>

	<p>こないという問題を抱えており、担い手農家への農地の集積・集約化がかなり厳しい状況になってきている。</p> <p>また市は、今年と来年の2年間で、今後の農地利用をどのようにするか、10年先に誰が担っていくかを明確にするべく地域で話し合いながら地域計画策定を進めている。その中で、経営力の強化、経営力がないと今後の農業は続いていかないという認識である。JAや県の普及センターにも参画していただいております、その解決を図っていききたい。</p>
委員	<p>担い手農家の高齢化以外にも、長岡地域では農業としての魅力の発信が不足してると感じている。</p> <p>農業者が高齢化し、個の集団から農業法人等に移っている。農業そのものは変わりがないが、法人が立ち上がっているというところではない。</p> <p>農業に対する経営力を上げるためには、米価下落の中で主食用米から非主食用米へと転換し、農業所得を上げていこうということがあるが、米以外に新たな作物を作っていくということはリスクを考えると厳しい。市のバックアップ、継続的な補助金の体制を敷いてもらえると農家はありがたいと思う。</p>
農水産政策課・課長	<p>おっしゃる通り、市も主食用米から非主食用米に転換することに力を入れている。加えて、複合経営という部分も非常に大事になってくると考えている。又、園芸へのシフトへの支援もしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>市として、新規の担い手の育成という点で、どういったところに力を入れていくか聞きたい。</p>
農水産政策課・課長	<p>新規の担い手支援として、市では他市にないような形の補助制度、農家の見習い期間から独立するまでの切れ目ない補助制度を設けている。</p> <p>その中で、新規就農者、特に若者あるいは女性の就労を確保するために、スマート農業が大きな鍵になってくると考えている。長岡市は全国的にも先進的に進めていると自負しており、しっかりと進めていきたい。</p>
司会：地方創生推	<p>次に「戦略5 交流・連携」について、ご意見いかがでしょうか。</p>

<p>進部長 委員</p>	<p>湯沢駅では、人流が回復し外国人が多くなってきていると感じるが、長岡は通りを歩く外国人も少なく、駅にも少ない。</p> <p>交流という点では、外国人を含めた関係人口を増やしていかないといけないと思うが、今後の具体的な方向性を聞きたい。</p>
<p>観光企画課・課長 補佐</p>	<p>国では令和5年3月に新たな観光立国の推進計画をつくり、インバウンドの回復を戦略の一つに掲げている。</p> <p>市でも、インバウンド誘客促進を目的に、例えばQRコードを活用した多言語解説を市内23ヶ所の観光施設や案内看板に設置するなど、受け入れ環境の整備に取り組んできた。</p> <p>今年度には北陸信越運輸局と連携し、インバウンド誘客の可能性が高いと思われる山古志地域、蓬平地域、摂田屋・宮内におけるコンテンツの掘り起こしや磨き上げなど、外国人目線でのニーズ調査に取り組んでいる。</p> <p>この調査を踏まえ、インバウンド誘客の促進に引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>国際交流課・課長 委員</p>	<p>長岡市の魅力を広く世界にも発信しようということで、近年では姉妹友好都市に向けてオンライン配信に力を入れている。</p> <p>本市の文化、名所をお伝えし、より身近に長岡を感じて頂き、長岡ファンを増やすべく努力していきたい。</p> <p>市外の方には長岡花火は有名だが、それ以外に全国的にメジャーになってる部分が少ないと思う。市以外の方に広域連携だったり、県外の取り組みであったり、長岡にある資源をどのようにして発信していくかということが非常に重要になってくると思う。</p> <p>具体的に検討されていることや市外との連携で考えてることがあれば聞きたい。</p>
<p>観光企画課・課長 補佐</p>	<p>摂田屋・宮内地区は、特に旧機那サフラン酒本舗をはじめとして歴史的資源がある情緒溢れるまちである。この地区には「米蔵」という情報発信基地があるが、令和4年度は約3万7,000人のお客様にお越しいただいた。</p> <p>この地区で、これから「稼ぐ観光」のあり方について検討していくための協議会設立準備会を立ち上げたところ。この地区だけではなく、蓬平とか山古志に至るエリアについて、他の地域に負けない</p>

<p>委員</p>	<p>強みや地域資源が何か、地元の方々の様々なメンバーに参集いただき、必要なキーワードを意見交換している。</p> <p>引き続きこうした意見交換をもとに、この地区をはじめ山古志・蓬平地域にある地域資源を有効に組み合わせながら、魅力的な観光コンテンツの造成に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>どのように人を回遊させるか、定着させるかが重要。どんどん長岡に人が来れば、経済にとっても良いことだと思うので、そういった取り組みに協力していきたいと思う。</p>
<p>地域振興戦略部・地域プロジェクト担当課長</p>	<p>地域の魅力発信ということで、特に、各支所地域で魅力発信に力を入れているが、なかなか良いコンテンツがなく誘客までには至っていない。合併前からの姉妹友好都市では、例えば川口地域は狛江市と、小国地域は武蔵野市との交流が盛んになるように取り組んでいる。</p> <p>また、eスポーツは競技人口も増え、若い世代に魅力があるということで、これを活用した新たな人の流れを作ろうとしており、寺泊地域と栃尾地域で取り組んでいるところ。</p> <p>これをさらに広げ、ミライエと連携しながら回遊できるような施策を検討している。</p>
<p>委員</p>	<p>人の流れを計る指標が三つ並んでいるが、長岡に来ていただいて、どの程度の経済効果になっているかという経済効果的な指標はないのかと感じた。</p> <p>人の流れを見てもらわないと、スタートしていかない事実があるのではないかと。長岡に来てもらった後、どうやって経済効果に繋げるかの指標と、そこに対するアクションが必要ではないか。</p>
<p>観光企画課・課長補佐</p>	<p>経済の流れを作るということは非常に重要である。</p> <p>一昨日開催した「酒の陣」後の「まち飲み」という企画で中心市街地の16店舗に協力いただき、2次会利用者へのサービスなどで連携した。</p> <p>協力店舗からは、アオーレのイベントからまちへの経済波及効果があったと聞いている。今後もそうした流れを作っていくことが、これからの観光には重要と考えている。</p>
<p>司会：地方創生推</p>	<p>それでは、最後「戦略6 安心安全」について、ご意見いかがで</p>

進部長	しょうか。
委員	フェニックスネットについて、頭打ちになってるとの話だが、個人情報という法律がある中で、医療情報の限界もあるが、いずれにしてもこうした取組みは、行政主導でやってもらえると民間は動きやすい。
長寿はつらつ課・ 課長補佐	仰るとおり、この件に関しては行政がイニシアティブをとって、普及させていかなければ普及していかないことだと考えている。 消防署からは緊急搬送の際にとても情報が役に立っているとの声をいただいている。福祉保健部だけではなく消防とも力を合わせて、これからも普及に努めていく。
委員	避難訓練や消防訓練など行政が仕組みを作っただけだと、民間の私どもも非常にやりやすい。大学とか専門学校では、避難訓練に消防署の方に来ていただき、ご指導いただいている。毎年のことだが日頃のことが非常に大事。中越地震のようなことは起こってほしくないが、万が一の時に一番役に立つと思う。
委員	フェニックスネットについて、高齢者は登録が面倒で使うのも嫌だと思える方が多いと思うが、例えば、支所に行ったときなどに使い方を説明してもらえなどの仕掛けがあると、もう少し利用が伸びると思う。人が関わるような形で支援できる仕組みを作ってもらえるとよいのではないか。
長寿はつらつ課・ 課長補佐	フェニックスネットについては、登録者の9割は市役所に届けを出してなく、ほとんどの方はかかりつけの医者や利用している介護事業所の方から、登録や書類の記載などを手伝ってもらい、そこで提出していただいているというのが現状。
委員	先生や看護師、受付の方がその負担を負っているのか。
長寿はつらつ課・ 課長補佐	申し訳ないが医療機関の方々に協力いただいている。
司会：地方創生推 進部長	それでは、戦略1から6を通して、他にご意見があれば、いかがでしょうか。

委員	<p>創業に関しては各金融機関それぞれで対応しているところ。それぞれの団体でやっている相談やセミナーが、どちらかで取りまとめて合同でできるような場を設けていただけないか。</p> <p>新潟県のアントレプレナーシップ教育が始まり、当金庫も喜んで参加させていただいている。そうしたセミナーなど情報を発信していただき、参加要請のお話をいただければ協力していきたい。</p>
産業イノベーション課・課長補佐	<p>県などのイベントは皆様に周知をさせていただく。届いてないようなことがあれば、周知不足であるので改善し徹底していきたい。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>それでは、予定の時間をオーバーして申し訳ないですが、次は議事2に入らせていただきます。</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金等の効果検証について、最初に、地方創生推進タイプの「NaDeC構想による産業創出と人材育成」について、説明をお願いします。</p>
産業イノベーション課・課長補佐	<p>4大学1高専・商工会議所と市で構成された、NaDeC構想に基づく産業振興や人材育成事業を展開しているが、具体的な産業イノベーション創出、起業創業支援、NaDeCに基づく人材育成や様々な事業支援、デジタル化や産業活性化のための様々な支援事業を展開している。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>続いて、「高度外国人材を活かした未来産業創出システム」について、説明をお願いします。</p>
産業立地・人材課・課長	<p>高度外国人材に関して、外国人の活用支援アドバイザーや行政書士の方の財政的サポート、留学生による市内、企業の見学ツアー交流会等を開催している。この3月にモンゴル高専生が市内企業で受け入れしていただいた。又、この10月には海外へ行く予定であり、外国人材の活用について対応していきたいと考えている。</p>
司会：地方創生推進部長 DX政策課・課長	<p>続いて、デジタル実装タイプについて、説明をお願いします。</p> <p>これまでも当市ではデジタル化に取り組んできたが、この交付金の創設によって、これまでできなかった分野にもチャレンジすることができるようになり、デジタル化の加速に繋がっている。</p> <p>事業の実施に伴い、市民や事業者の皆様の利便性向上、また行政</p>

<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>事務の効率化など、そういった効果も出ていると考えている。</p>
<p>地域振興戦略部・地域プロジェクト担当課長</p>	<p>引き続き、令和5年新規の地方創生推進タイプの「eスポーツを活用した地域人材の発掘・育成及び地域課題の解決」について、説明をお願いします。</p> <p>長岡地域に比べ、特に支所地域では担い手不足が非常に顕著になっているため、そうした地域課題を解決する手段としてeスポーツを活用していくもの。</p> <p>今年度は、まずはeスポーツを知ってもらうため、寺泊と栃尾でゲームPCを導入し、体験会等を行っている。</p> <p>来月には官民連携の推進協議会の準備会を立ち上げ、eスポーツを使ってどう地域課題を解決していくか検討していく予定。</p>
<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>続きまして、「人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」について、説明をお願いします。</p>
<p>産業立地・人材課・課長</p>	<p>県事業として実施するもの。市では「マッチボックス」事業を9月から開始している。既に、何件かマッチングしており、非常に好評だと聞いている。今年度は試験的操業。来年度以降、企業の掘り起こしや人材の発掘をしていきたい。</p>
<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>続きまして、令和5年度のデジタル実装タイプの「行かない」「書かない」「スムーズな」行政サービス推進事業などの事業について、説明をお願いします。</p>
<p>DX政策課・課長</p>	<p>デジタル実装に関する交付金を活用した事業を、令和5年度も継続して実施している。引き続き積極的に取り組んでいく。</p>
<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>今年度から取り組んでいるものでありますので、具体的にご報告できる段階になりましたら、皆様にご報告させていただきます。</p> <p>最後に、地方創生応援税制について説明をお願いします。</p>
<p>政策企画課・課長</p>	<p>企業版ふるさと納税という仕組みを使い、記載事業に対して企業からご寄附をいただいている。</p>
<p>司会：地方創生推進部長</p>	<p>全体を通して、ご意見を最後にちょうだいできたらと思います</p>

進部長	が、いかがでしょうか。
委員	<p>課題も整理されているので、それに基づいて進めてほしい。いずれも、市民や他の企業も知らないというのが結構あるのではないかと。その魅力発信の強化や、情報発信の強化に、引き続き注意していただきたい。</p>
委員	<p>長岡の個性を生かし、取り組みを進められている。</p> <p>子供達にはその未来が明るくなるような取り組みをお願いしたい。現状、市がやっていることについて市民が知らない、わからない、見えないということがあると、その理解を得て進めていくのが難しい。</p> <p>長岡の未来を決めるという意味では非常に大きな事柄なので、伝えること、知ってもらうという意味で、足並みを揃えてやっていただきたい。</p>
委員	<p>他の自治体は、こういった団体の意見交換はなかなかないと思う。今の取り組みをみんなで共有する、すごく良い場だと思っている。</p> <p>ミライエができて、ここから発信するものもたくさんあるように感じている。</p> <p>出席の皆さんが一緒になり、長岡を盛り上げるという意味では、方向性が確認できたのではないかと。今後とも、ミライエ長岡を盛り上げていくということで頑張っていきたい。</p>
委員	<p>この新しい米百俵プレイスができて、こういう機会、長岡オリジナルを発信できる場ができたというのが一番大きなことと感じている。</p> <p>実際にその場所ができて、今までのことをさらに具体的に展開できるということ、形というのは大切と思っている。</p>
司会：地方創生推進部長	<p>予定時間をオーバーし申し訳ありませんでした。それでは進行を事務局にお返しします。</p>
事務局：政策企画課・課長補佐	<p>予定していた議事はすべて終わりました。本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、令和5年度長岡市地方創生推進会議幹事会を終</p>

	了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none">○ 次第、出席者名簿○ 資料（長岡版総合戦略の進捗状況及び地方創生関連の交付金等の効果検証）○ 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略○ 各種パンフレット<ul style="list-style-type: none">・ミライエ長岡・互尊文庫・NaDeC BASE・Matching HUB Nagaoka2023・ながおかマッチボックス・HAKKO trip	